

## 情報公開用文書 ( 附属病院で実施する医学系研究 )

( 単施設研究用 )

西暦 2021 年 4 月 1 日作成 第 1 版

<b>研究課題名</b>	肺腫瘍に対する単純区域切除と複雑区域切除の手術成績の比較検討
<b>研究の対象</b>	対象は、2015 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに横浜市立大学附属病院呼吸器外科で肺腫瘍に対して手術を施行した患者さんのうち、肺腫瘍に対して、単純区域切除 ( 上区域・舌区域・S6 区域・底区域 ) および複雑区域切除 ( 単純区域切除以外の区域切除、複雑区域切除には亜区域切除も含めます ) を施行された患者さんが対象です。
<b>研究目的 ・方法</b>	区域切除は早期原発性肺癌、転移性肺癌、良性腫瘍を切除する有効な術式です。区域切除は肺葉切除と比較して、肺機能が温存できるだけでなく、肺悪性腫瘍に対する根治性が高い術式であり、現在一般的に行われている術式です。区域切除はその解剖学的な特徴から S6 区域、底区域、左上区域・舌区域を切除する単純区域切除が一般的に行われております。一方、複雑区域切除は単純区域切除の対象となる部位以外に存在する腫瘍や、単純区域切除では不十分な腫瘍切除距離となりうる腫瘍の場合に適応となります。しかし、複雑区域切除は単純区域切除よりも、解剖の把握が複雑であり、また細かい血管・気管支を処理する必要があるため、手術手技の難易度が高いです。そのため、今まで複雑区域切除に関して行われた研究は少なく、複雑区域切除に関する有効性および安全性については一定のエビデンスが未だ得られておりません。したがって本研究では、当院で肺腫瘍に対して複雑区域切除が行われた患者さんの治療成績を単純区域切除が行われた患者さんの治療成績と後方視的に比較検討し、複雑区域切除の安全性と有効性を評価する事を目的といたします。
<b>研究期間</b>	承認日 ~ 西暦年 2024 年 3 月 31 日
<b>研究に用いる 試料・情報 の種類</b>	カルテ上の診療情報から下記情報を収集し研究に用います。 年齢、性別、喫煙歴、患側、既往歴、CT 結果、呼吸機能、区域切除理由、手術に関連する情報、再発情報等

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

## 情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

(単施設研究用)

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 呼吸器外科 (研究責任者) 石川 善啓

電話番号: 045 - 787-2800 (代表) FAX: 045 - 786 - 0226